学校番号	1301

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	異文化入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

視聴覚教材やＩＣＴ機器を中心に講義を行う。また、必要に応じてフィールドワークや調べ学習などをグループで協働して行い、他者と協力することも主題とする。

2　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、西成地域でのフィールドワークや現代の諸課題を追究したり、解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

設定されたテーマに関して、多角的な視点から探求することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

自らが学習した内容を様々な方法を用いて発信・共有することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

学習した内容をもとに、適切な方法で合意形成を図ることができる。

また、西成地域に住む外国人についての学習やフィールドワークを通じて、西成地域に住む外国人が抱える社会問題や現状について理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・諸外国の文化や思想に関する基本的な知識を理解し、実生活に活用することができる。 ・視聴覚教材や資料から必要な情報を読み取る技能を身につけ、自分の意見や考えを深めることができる。	・諸外国の社会問題などについて、多面的・多角的に考察し、自分なりの意見をもつことができる。 ・自分なりの考えを他者にわかりやすく伝えることができる。	・諸外国の文化や思想から自文化を客観的に見つめなおし、自分事として関心をもつことができる。 ・他者の意見や考えを理解し尊重することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	身近な異文化について	・各国の文化について ・挨拶 ・食 ・服装 ・時間の感覚　など	a:身近な諸文化についての基本的な知識を理解することができる。 b:自分なりの意見をもって、相手にわかりやすく伝えることができる。 c:諸外国の文化や思想から自文化を客観的に見つめなおし、自分事として関心をもつことができる。	調べ学習の記述 プリント記述	視聴覚教材の記述 調べ学習の感想	調べ学習の取り組み態度 フィールドワーク取り組み態度
ステージ2	諸外国の思想・発表	・各地の宗教 ・大阪に住む外国人について ・西成地域へのフィールドワーク ・フィールドワークの振り返り	a:視聴覚教材や資料から必要な情報を読み取る技能を身につけ、自分の意見や考えを深めることができる。 b:諸外国の社会問題などについて、多面的・多角的に考察し、自分なりの意見をもつことができる。 c:他者の意見や考えを理解し尊重することができる。	調べ学習の記述 プリント記述	視聴覚教材の記述 調べ学習の感想	調べ学習・発表活動の取り組み態度 フィールドワーク取り組み態度
ステージ3	一年の振り返り	・フィールドワークの振り返り、発表 ・西成地域についての調べ学習	a:視聴覚教材や資料から必要な情報を読み取る技能を身につけ、自分の意見や考えを深めることができる。 b:諸外国の社会問題などについて、多面的・多角的に考察し、自分なりの意見をもつことができる。 c:他者の意見や考えを理解し尊重することができる。	調べ学習の記述 プリント記述	視聴覚教材の記述 調べ学習の感想	プリントの記述 発表態度、相手の話を聞く態度

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度